

アジア養蜂研究協会 書籍販売のご案内



2000/12/01

最新刊

[カタログ番号 TO200]

「みつばち健康読本」

東洋医学舎編。(2000) 東洋医学舎. 152 pp. 定価 1,000 円 (税別). 頒価 900 円. 400 g.

東洋医学舎シリーズ健康の科学 No.9 として、アピセラピーを代替医療の担い手と位置づけたムック。玉川大学関係者は特集1「ミツバチー究めきれない不思議の世界」を担当。特集2「癒しの現場のミツバチ産品」では専門家によるレポートと数々の体験談、特集3「展開する基礎研究」ではミツバチ科学誌に掲載された論文も含めて、あらゆる角度から、ミツバチ生産物、プロポリス、ローヤルゼリー、花粉、ハチミツ、蜂針(蜂毒)についてその効能を科学している欲張りな一冊。「はちみつ蔵」,「養蜂博物館」なども紹介。



ミツバチの絵はがき 新シリーズ

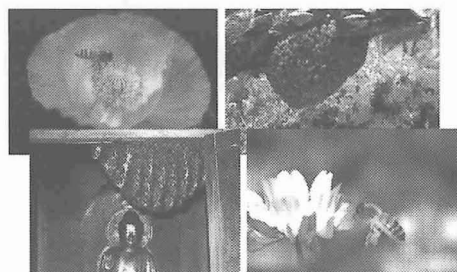
[カタログ番号 PC06] 「岡田一次名作集」

[カタログ番号 PC07] 「ニホンミツバチ」

玉川大学ミツバチ科学研究施設製。(2000) 各8枚組。頒価各200円。

好評を博している絵はがきに新シリーズが登場。第6集は「岡田一次名作集」として、故岡田一次名誉教授の記念碑的名作写真から白黒写真を含む数点を厳選したもの。

第7集は「ニホンミツバチ」。最近では都市部にも増え、人の目にふれることも多くなってきたこの蜂の、生態写真の他、伝統養蜂のシーンなどを集めた。



既刊から

[カタログ番号 Y200]

「ニホンミツバチの飼育法と生態」

吉田忠晴著。(2000) 玉川大学出版部. 135 pp. 定価 2,000 円 (税別). 頒価 1,900 円. 270 g.

日本各地のニホンミツバチの伝統的飼養法と採蜜、東南アジア各地のトウヨウミツバチ飼育法、近代的な可動巣枠式巣箱によるニホンミツバチの飼養法と採蜜など「ミツバチ科学」連載記事をまとめたものに新たに一部加筆。さらに付録として、セイヨウミツバチの飼育法も、多数の写真を用いて初心者向けにわかりやすく解説されている。蜂具類購入案内もあり、ミツバチ飼育に関心を持つ多くのホビービーキーパー必携の参考書。



[カタログ番号 SS200]

「ニホンミツバチ

—北限の *Apis cerana*—

佐々木正己著。(1999) 海遊舎. 192 pp. 定価 2,800 円 (税別). 頒価 2,700 円. 450 g.

熱帯アジアのジャングルで身につけた「すばしこさ」と北国の冬を乗り切る「息の長さ」を合わせ持つニホンミツバチ。その人々を魅了しつつ、いまだ知られざる生態の不思議をとらえた精細な写真で読者を取りこする。加えて最新の生物学的知見をふんだんに集めてこのミツバチの魅力を惜しみなく紹介する。写真集としても一見の価値ありで、見ても読んでも飽きの来ない、ニホンミツバチを知りたい人の座右の著。



[カタログ番号 S100]

「ミツバチの知恵」

ミツバチコロニーの社会生理学」

トーマス・D・シーラー著、長野啓・松香光夫訳。(1998) 青土社。362 pp. 定価 3,200 円 (税別)。頒価 3,000 円。560 g。

ミツバチの採集行動、特に花蜜、花粉、水それぞれの採集において、どのような情報の流れがあるのかを、具体的な実験結果を踏まえて考察、ミツバチのコロニーの営みを解き明かす。この分野で第一人者の著者による「社会生理学」の黎明を告げる好書。

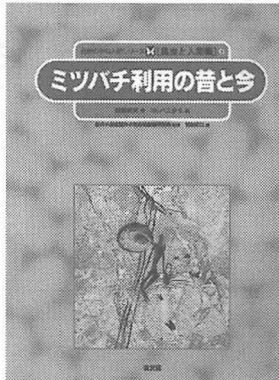


[カタログ番号 M200]

「ミツバチ利用の昔と今」

松香光夫著、(株)パステル絵。(1998) 農山漁文化協会。自然の中の人間シリーズ「昆虫と人間編」③。32 pp. 定価 2,000 円 (税別)。頒価 1,900 円。530 g。

ミツバチの巣のろうがフロッピーディスクに？ミツバチの不思議な生態から、養蜂の歴史、ローヤルゼリー、プロポリス、花粉だんご、蜂ろうなどミツバチの生産物の生産から利用まで、ミツバチと人の関わり合いを、大判の図版でわかりやすく解説。



[カタログ番号 M300]

「アジアの昆虫資源」

資源化と生産物の利用」

松香光夫、栗林茂治、梅谷献二著。(1998) 国際農業研究叢書。農水省国際農林水産業研究センター。191 pp. 定価 2,100 円 (税別)。頒価 2,000 円。300 g。

アジア地域における有用昆虫資源を地域の植生条件との関連において考察し、その分布、機能の特性、有効利用の可能性を明らかにした。絹糸昆虫の生産と利用、熱帯とアジアにおける養蜂、昆虫産生物質の生産と利用、天敵昆虫の生産と利用、食用・薬用としての昆虫の利用などを紹介。



[カタログ番号 IN100]

「蜂は職人・デザイナー」

奥本大三郎、吉田忠晴ほか著。(1998) INAX 出版。83 pp. 定価 1,800 円 (税別)。頒価 1,700 円。320 g。

巣の造形に卓越した技とセンスを発揮するハチたちは、家造りの巧みな職人であり、デザイナーでもある。自在な造形デザインから建築技術、耐震構造、空調、増築まで、その比類ない職人ぶりを紹介する。六角形をつくるミツバチの建築技術 (吉田)、狩りバチたちの集合住宅 (松浦) ほか。

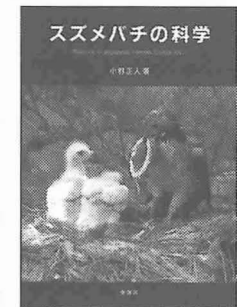


[カタログ番号 ON200]

「スズメバチの科学」

小野正人著。(1997) 海游舎。174 pp. 定価 2,700 円 (税別)。頒価 2,600 円。410 g。

日本に生息するスズメバチの全種について、その生態、巣の構造などを科学的に解説。227 枚のカラー写真と説明で明快に示す「カラー図版篇」と、最新の学術情報を満載した「解説篇」からなる。スズメバチ幼虫の唾液にヒントを得て開発されたスポーツドリンクの話題や、刺されないための方策と刺されたときの対策など、具体的に幅広くまとめられている。

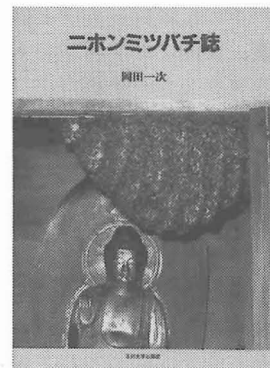


[カタログ番号 OK200]

「ニホンミツバチ誌」

岡田一次著。(1997) 玉川大学出版部。86 pp. 頒価 2,500 円。510 g。

1990 年の初版 (自家出版) の新装改訂版 (1997 年)。数多くの貴重な知見と 200 枚以上の素晴らしい写真を掲載した、著者の 40 年にわたるニホンミツバチ研究の集大成。近年アジアのミツバチが再評価されており、内外の関心に応えるため、英文の説明が追加されている。



[カタログ番号 W100]

「マルハナバチ・ハンドブッカー野山の花とのパートナーシップを知るために」

鷺谷いづみ, 小野正人ほか著. (1997) 文一総合出版. 49 pp. 定価 1,200 円 (税別). 頒価 1,200 円. 100 g.

マルハナバチの観察や「地域の生物多様性」の調査などに役立つ携帯サイズのミニガイド (ビニールカバー装着). 種類ごとの生態写真, 同定に役立つ特徴, 野山の花とのパートナーシップをしめす図鑑篇, 形態上の特徴から種を調べる検索表と分類, 形態, 生態, 花との関係を示す解説篇からなる.



[カタログ番号 ON100]

「マルハナバチの世界

—その生物学的基礎と応用—

小野正人, 和田哲夫著. (1996) 日本植物防疫協会. 132 pp. 定価 2,500 円 (税別). 頒価 2,500 円. 250 g.

トマトのポリネーターとして輸入されているマルハナバチの解説書. 生物学 (小野) とその利用 (和田) に分けて, マルハナバチの自然史, 研究史, 世界のマルハナバチ事情, 使い方から関連情報までを網羅.

[カタログ番号 M100]

「ポリネーターの利用」

松香光夫著. (1996) サイエンスハウス. 153 pp. 定価 1,800 円 (税別). 頒価 1,600 円. 205 g.

ミツバチやその他のハナバチ類を中心に, 農作物の豊かな実りをもたらす花粉媒介昆虫 (ポリネーター) の素顔と働きを解説し, 諸外国の現状を通して新しい利用法や問題点を述べる.

[カタログ番号 SS100]

「養蜂の科学」

佐々木正己著. (1994) サイエンスハウス. 159 pp. 定価 1,800 円. 頒価 1,600 円. 180 g.

最近の昆虫機能利用, 開発の動きを受け, 有用昆虫, 資源昆虫を代表するミツバチについて, 養蜂がその高度な社会機構をどこまで活用し, コントロールしてきたか, あるいは逆に養蜂技術にどのような科学的根拠があるのかを生物学的に探る. 養蜂の将来の展望についても述べている. 最新の知見をふんだんに取り入れており, 科学読み物としても読める一冊.

[カタログ番号 SK100]

「ミツバチのはなし」

酒井哲夫編著 (1992) 技報堂出版. 194 pp. 定価 1,500 円 (税別). 頒価 1,300 円. 240 g.

研究者の目を通して明らかにされたミツバチの神秘的な生態や生理, 不思議な行動, 人間との関係など最新の情報を紹介する興味深い 31 話.

[カタログ番号 IB100] 特別割引中

「養蜂用語辞典第 9 巻 (英語-仏語-日本語)」

国際ミツバチ研究協会編. 187 pp. 定価 3,000 円. 頒価 1,000 円. 450 g.

3 か国語の養蜂用語の一覧. 1036 語を収録. ミツバチの研究や養蜂関係の仕事を通して, 世界各国と交流するとき, 特に文献類を読む際など, 専門の訳語を必要とするときに便利な一冊.

[カタログ番号 M400] 英文

Asian Bees and Beekeeping: Proceedings of Fourth Asian Apicultural Association International Conference, Kathmandu, 1998

M. Matsuka, L.R. Verma, S. Wongsiri, K.K. Shrestha, U. Partap 編. (1999) Oxford & IBH. 264 pp. 定価 US\$47.50. 頒価 3,000 円. ISBN1-57808-084-3. (特装版)

1998 年 3 月 ネパールで開かれた第 4 回 AAA 大会の論文集. 大会決議, ワークショップの提言, アジア養蜂研究協会各国代表によるカントリーレポートなどを盛り込み, アジアのミツバチと養蜂の現状をまとめた第 1 章と, ミツバチ生物学, 養蜂技術, 生産物, 病害敵, ポリネーションなど発表論文を掲載する各章からなり, アジアの動きを広く世界へ発信する.

[カタログ番号 K100] 英文

The Asiatic Hive Bee: Apiculture, Biology and Role in Sustainable Development in Tropical and Sub-tropical Asia

P. Kevan 編. (1995) Enviroquest. 315 pp. 頒価 3,500 円. 700 g.

1988 年マレーシアで開催の「熱帯および亜熱帯アジアにおけるトウヨウミツバチ養蜂の振興に関する会議」論文集. トウヨウミツバチ養蜂を多面的にとらえ, アジアの養蜂振興におけるトウヨウミツバチ利用の意義を考える端緒となった. アピモンディア '99 コンテスト書籍部門で入賞.

ミツバチ科学研究施設 別刷資料

[カタログ番号 F100] 学術研究所紀要別刷

「UV スペクトルおよびクロマトグラフィ分析から見たプロポリスの多様性」

藤本琢憲, 中村純, 松香光夫著. (2000) 玉川大学学術研究所. 16 pp. 頒価 200 円. 50 g.

プロポリスの効果の研究にはその由来の明確さが必要であるという観点から, ブラジルをはじめ, 世界各国から集めたプロポリスサンプルの分析を行って, その化学的多様性について考察した論文.

[カタログ番号 Y100]

「ニホンミツバチ・生態とその飼育法」

吉田忠晴著. (1998) ミツバチ科学研究施設. 56 pp. 頒価 1,000 円. 130 g.

「ミツバチ科学」連載記事の合本. ニホンミツバチと養蜂の歴史, 野生群の生息場所, 伝統的飼養法と採蜜, ニホンミツバチの生態, 可動巣枠式巣箱による飼養法, セイヨウミツバチとの相違点, 東南アジアのトウヨウミツバチ飼育法などを述べる.

[カタログ番号 M150] 学術研究所紀要別刷

「ミツバチ女王蜂の分化とローヤルゼリー」

松香光夫著. (1997) 玉川大学学術研究所. 12 pp. 頒価 200 円. 50 g.

103 編の引用文献は内外のローヤルゼリー関連資料を網羅. I. 玉川大学での研究. II. 女王蜂と働き蜂 III. 女王蜂の決定とホルモン IV. RJ の分泌腺 V. RJ の成分 VI. 幼虫の人工飼育 VII. 女王蜂分化と RJ.

書籍販売追加表 (在庫僅少本・特別提供品)

カタログ番号	書名 (著者編者)	出版年	価格
C100	World Perspectives in Apiculture (Crane)	1985	3,600
C200	Pollination Dictionary for World Crops (Crane&Walker)	1984	3,800
PM100	Beeswax & Propolis for Pleasure and Profit (Munn)	1998	1,500
AM100	Bumble Bees for Pleasure and Profit (Matheson)	1996	1,700
RJ100	Habitat Management for Wild Bees and Wasps (Jones&Munn)	1998	2,500
F100	Farming Japan/Bees and Beekeeping in Asia & Tropics	1999	1,000
TO100	健康の科学③ プロポリス健康読本 1 (松香ほか)	1996	900
ON300	昆虫と自然 特集・マルハナバチ (小野ほか)	1998	1,170
K100	アジアの養蜂 (酒井ほか)	1993	1,000
R100	みつばち 自然界の幾何学者 (坂上ほか)	1994	1,650
T100	花の顔 実を結ぶための知恵 (田中)	2000	1,800
NK200	日経ヘルス “プロポリスのすべて” を含む	2000	520

お申し込み先: アジア養蜂研究協会 (担当: 榎本)

〒194-8610 町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学ミツバチ科学研究施設内

電話 (FAX とも) 042-739-8685 Email HSRC@tamagawa.ac.jp

「ミツバチ科学」特集号

下記のミツバチ科学バックナンバーは 1 冊各 1000 円でお分けします (残部に制限あり).

[カタログ番号 HS193]

19 巻 3 号 ミツバチの病気とダニ特集号

論文, 総説, 関連記事など 6 編を掲載

[カタログ番号 HS202]

20 巻 2 号 プロポリス特集号-2

関連論文 4 編を掲載

[カタログ番号 HS204]

20 巻 4 号 ミツバチ科学総目録

1~20 巻の項目, 著者索引を掲載

※なお, 19 巻 1 号ローヤルゼリー特集号, 19 巻 2 号プロポリス特集号は品切れとなりました.

ミツバチの絵はがきセット

4 種 (各 8 枚組 200 円) 玉川大学ミツバチ科学研究施設製.

[カタログ番号 PC02] 『世界のミツバチ切手』

[カタログ番号 PC05] 『ASIAN HONEYBEE』

[カタログ番号 PC06] 『岡田一次名作集』

[カタログ番号 PC07] 『ニホンミツバチ』

※上記以外のセットは絶版です.

お申込み方法

購入をご希望の方は別添の申込用紙の所定欄に①カタログ番号, 書名と部数, ②送付先ご住所, ③ご氏名, ④電話/FAX 番号をご記入の上, 郵送, FAX, または同様の内容を e-mail で下記までお知らせ下さい (代金は後払い, 送料実費です).